

# 「電気の廃棄物」問題を考えるキャンペーン 実施結果（概要）について

---

2009年11月24日  
原子力発電環境整備機構

# キャンペーンの全体像(主要施策とスケジュール)

9/ 下旬～ 10/ 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 11/ 1 2 3 4

原子力の日

広聴活動

- 論説委員訪問
- フォローアップ活動
- 座談会/フォーラム  
ワークショップ

▽(ワークショップ: 東京)

▽(フォーラム: 大阪)

- NUMO-NOTE ▽(25号)

- 電力PR館イベント
- 10/11～11/8の土日祝日に9箇所を実施

問題提起・意見の可視化・フィードバックのための主な活動

意見の可視化

活動の  
底上げ

9/30  
キャンペーンリ  
リース

問題の呼びかけ・関心の喚起フェーズ

意見の可視化・情報の発信フェーズ

意見の集約と顕在化  
フィードバックフェーズ

10/17  
キックオフ  
新聞広告

30秒 TVCFの放映

Yahoo ブランドパネル露出  
(トップページ)

電車・中吊広告

大型ビジョンでの TVCF放映

映画館での TVCF放映

あなたはどう考えますか?  
「電気の廃棄物」問題

10/25  
新聞広告  
(理事長対談)

11/1  
新聞  
広告  
(フィードバック)

11/3  
シンポジウム  
採録広告

10/18  
TV番組の番宣  
(テレビ欄下)

10/18  
TV番組の放送

10月1日～31日  
郵便局での  
ポスター掲出

情報の集約  
サイトへの導線作り

シン  
ポジ  
ウム  
IN  
汐  
留

情報の集約  
サイトへの導線作り

意見の集約  
フィードバック

新聞広告・TVCFを  
特設サイトに掲載

みなさまのご意見を掲載

シンポジウムの概要を掲載

ティザーサイト開設

特設サイト立ち上げ→2週間に実施される様々な施策がコンテンツ化され、日ごとに特設サイトが充実していく仕組み。

※11/3以降、  
NUMO本サイトに集約

10/15プレス向けセミナー開催

11/9プレス向け瑞浪ツアー開催

P.1

# 新聞広告・ポスター掲出等

「7つの現実」を提起し、関心喚起を図る」

もう、目をそらす訳にはいかない現実があります。



私たちの家庭をききえる電気、いまや約3割は、原子力発電から。

家庭から「ゴミ」が出るように、原子力発電からも、「廃棄物」が出ます。

日本が原子力発電を使い始めて、約40年。

今、この瞬間も、「放射性廃棄物」は増えつづけています。

家庭の「ゴミ」には、処分場がありますが、「電気の廃棄物」には、まだ処分場がありません。

フィンランドとスウェーデンは、すでに決めています。

日本では、まだ、問題の存在を広く知られていません。

**あなたはどのように考えますか？「電気の廃棄物」問題**

原子力発電は、使い捨てた燃料の約95%がリサイクル可能です。このリサイクルの過程で「電気の廃棄物」（高レベル放射性廃棄物等）が発生します。これらの「電気の廃棄物」は、長年にわたり年間数回から数回必要です。地下300mより深い安定した岩盤に埋蔵する地層処分は、現在より安全な処分方法です。「電気の廃棄物」問題は、電気を扱う一歩ひとりの問題。みなさんに、考えて議論してほしい問題です。NUMO（ニューモ）はみなさんとともに、この問題を解決へと進めます。あなたのご意見を聞かせください。電気の廃棄物 廃棄物 NUMO（ニューモ）はみなさんとともに、この問題を解決へと進めます。あなたのご意見を聞かせください。

「地層処分」で、解決に取り組む。 **NUMO** 原子力発電環境整備機構



■日 時:10月1日(木)～10月31日(土)  
■実 施:全国約1万局の郵便局で  
ポスター掲示



■日 時:10月17日(土)～10月27日(金)※路線によって異なる。  
■実 施:北海道・宮城・東京・愛知・石川・大阪・広島・香川・福岡  
(各地域を中心に複数路線)

■日 時:10月17日(土)  
■媒 体:読売新聞全国+地方・ブロック紙48紙(15段フルカラー)

# 郵便局・アウトドア・インターネット広告

「7つの現実」を提起し、関心喚起を図る」



TVCFコンテ案からの抜粋



■日 時:10月19日(月)~11月1日(日)  
■実 施:YAHOO! JAPAN ブランドパネル



■日 時:10月17日(土)~25日(日)  
■実 施:北海道・宮城・東京・愛知・福井・大阪・広島・香川・福岡・沖縄



■日 時:10月17日(土)~10月23日(金)  
■実 施:北海道・宮城・東京・愛知・富山・大阪・広島・愛媛・福岡・沖縄(計104スクリーン)

■日 時:10月17日(土)~10月25日(日)を中心に期間中  
■媒 体:日本テレビ/フジテレビ系列の全国各局中心に展開



# 地上波・衛星放送での特別TV番組

## 「地層処分」に関する情報提供

### 地上波放送



伊藤利尋アナウンサー



中野美奈子アナウンサー



くわばたりえさん  
(クワバタオハラ)



田代 さやかさん

■ 日 時：10月18日（日）22:00～23:15

■ 媒 体：フジテレビ 系列26局ネット

※10月24日（土）：青森県、大分県

10月25日（日）：宮崎県

#### ■ 番組名：

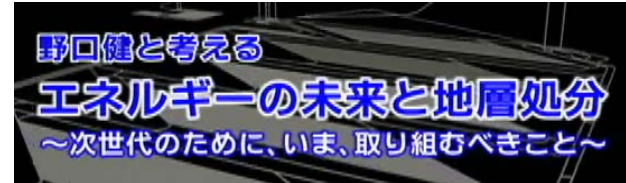
『仮想生活実験ドキュメント もしも』

#### ■ 概 要

タレントのくわばたりえさんと田代さやかさんが、徐々に電気が使えなくなるという仮想生活実験をとおして、省エネの意義や電気の利便性を体感。原子力発電の有用性や地層処分にまで言及。

視聴率：10.4%（関東平均：ビデオリサーチ調べ）

### 衛星放送



女性アシスタント  
木佐 彩子



男性パーソナリティ  
野口 健



■ 日 時：10月25日（日）17:00～17:55

■ 媒 体：BSフジ

#### ■ 番組名：

『野口健と考える エネルギーの未来と地層処分』

～次世代のために、いま、取り組むべきこと～

#### ■ 概 要

地層処分の必要性や安全性、処分場のイメージから海外における最新情報など、地層処分の「今」、そして「これから」がわかる特別番組を放映。

# シンポジウム

## 有識者の議論を通じて「電気の廃棄物」問題を考える

■日 時:10月24日(土)16:00～

### 第1部 スペシャルトーク



みの もんた氏

朝の顔 みのもんたが、山名先生とのトークセッションを通し、エネルギーの話題に鋭く切り込み、わかりやすい内容で展開。地層処分についても、自分たちのこととして考えるべき、といったメッセージを発信。



山名 元氏  
京都大学原子炉研究所

### 第2部 パネル討論

コーディネーター



鳥井 弘之氏  
元東京工業大学教授

パネリスト



渡田 淳江氏  
WEN代表



井川 剛次郎氏  
読売新聞 編集委員



長崎 晋也氏  
東京大学教授



ビエール=イヴ・コルディエ氏  
仏大使館原子力参事官



河田 東海夫  
NUMO理事

事業者であるNUMOはもとより、国民の皆さまや国、電力が何をすべきか、といった議論を通して、『電気の廃棄物問題』を自分のこととして考えていただく。

■参加者:210名(ほかマスコミ関係者19名)

■会場アンケート結果(来場者のうち一般応募100名を対象)

- ・『電気の廃棄物』問題は、自分の問題である。 : 89名/100名
- ・『電気の廃棄物』問題は、我々の世代で解決するべきである。 : 80名/100名
- ・『電気の廃棄物』問題を解決する「地層処分」が必要である。 : 86名/100名
- ・地層処分は安全に実施できる。 : 48名/100名
- ・自分の町が地層処分地に立候補しても冷静に受け止めて考えることができる。 : 77名/100名

もう、目をそらす訳にはいかない現実があります。

シンポジウム「電気の廃棄物」問題を考える

「電気の廃棄物」は、私たちの生活に身近な問題です。しかし、その処理方法がわからず、目をそらす傾向があります。本シンポジウムでは、有識者の議論を通じて、この問題を考える機会を提供します。

第1部 スペシャルトーク

みのもんた氏(朝の顔)と山名元氏(京都大学原子炉研究所)のトークセッション。

第2部 パネル討論

コーディネーター: 鳥井弘之氏(元東京工業大学教授)

パネリスト: 渡田淳江氏(WEN代表)、井川剛次郎氏(読売新聞編集委員)、長崎晋也氏(東京大学教授)、ビエール=イヴ・コルディエ氏(仏大使館原子力参事官)、河田東海夫氏(NUMO理事)

あなたはどのように考えますか? 「電気の廃棄物」問題

「地層処分」で、解決に取り組む。 NUMO

## シンポジウム採録広告

■日 時:11月3日(祝・火)  
■媒 体:読売新聞全国  
(15段フルカラー)

# 特設サイト・みなさまからのご意見

「電気の廃棄物」問題に関する詳細な情報を提供するとともに、キャンペーンの様々なコンテンツをご覧いただける特設サイトの設置

## 特設サイトトップページ



## 7つの現実詳細情報 および意見投稿ページ



## 特設サイトに寄せられた ご意見をご覧いただける ページ

■ 日 時: 10月17日(土)~11月3日(火・祝)

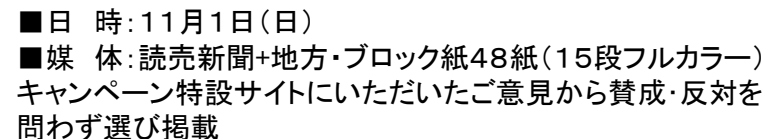
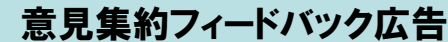
■ シンポジウムの概要などの様々な施策に関するコンテンツや情報を掲載。

■ キャンペーン期間中、「電気の廃棄物」問題に関するご意見を募ったところ、600件を超えるご意見をいただきました。いただいたご意見については、随時特設サイトにて紹介。





## 理事長対談広告





# 電力会社 PR館における実験イベント

電力会社PR館において、NUMO職員による体感実験を開催

## 実験の様子



### ■実験概要

ご来場の方々を対象に、「ベントナイトの水を通しにくい力」を体感できる簡単な実験を各地PR館で展開。

## 多重バリア模型ご説明の様子



■日 時:10月11日(日)～11月8日(日)の土日祝日に開催

■北海道電力	とまりん館	101名
■東北電力	女川原子力PRセンター	60名
■東京電力	電力館	59名
■中部電力	でんきの科学館	175名
■関西電力	大阪科学技術センター	60名
■北陸電力	エネルギー科学館ワンダーラボ	49名
■四国電力	伊方ビジターズハウス	90名
■中国電力	広島市こども文化科学館	84名
■九州電力	九州エネルギー館	108名

合計 786名  
(参加人数)